

# しじゅうから

福島市小鳥の森通信 2012年3月号 No.321



小鳥の森で観察してみよう 10

## シジュウカラ

分類：シジュウカラ科

大きさ：体長 14.5cm

生態：全国に留鳥としてすんでいて、木の多い住宅地などでも見かけることも多い。福島市の鳥でもある。

小鳥の森での観察：

小鳥の森ではネイチャーセンター周辺で、ヒマワリの種を食べにくる姿が毎日みられる。また、巣箱で子育てをする姿を見ることもできるが、巣箱には近づかないでください。



今回のイラストはくろさわかなでくんが描きました。

## 2月の自然

今年は例年になく雪の多い年となりました。そのせいか、普段はあまりリンゴを食べることのないウグイスが連日リンゴを食べにやってきて、訪れた人を驚かせていました。



リンゴにはウグイス以外にもシロハラやメジロ、ヒヨドリがよく訪れています。

雪がたくさん降ったので、食べ物を見つけることが難しかったのかもしれません。小鳥の森で栄養をとって春には元気に北へ渡ることができることでしょう。

レンジャーだより(高橋レンジャーより)

## 今年の夏にご期待

今年の1月、2月は中通りに低温注意報が毎日のように出され、例年にない厳しい寒さでした。

今季は冬鳥の姿が例年より少なく、小鳥の森にも問合せが多くありました。過去にも、2004年(8年前)に今季と同じように冬鳥の数と種類が少ない年がありました。

昔から閏年(うるうどし)のある年は季節の到来が異なるので、田、畑、山仕事などには、旧暦を良く理解するようと言われてます。

今年、旧暦では閏年で13カ月になっています。4月が2カ月ある計算です。つまり夏鳥の飛来時節が長くなるということなので、今年の夏鳥には期待できるかもしれません。

## 身近な野鳥ティーチャーズガイド講習会を実施しました

2月2日に小鳥の森ボランティアガイドの方を対象に身近な野鳥をテーマとした講習会を開催しました。

福島市内は放射線の影響もあり、外での活動はあまりできません。そのような時でも室内でできる野鳥のプログラムがたくさんあります。

講習会では野鳥の重さや羽の構造など実際に体験することで驚くことがたくさんあり、参加した皆さんもすっかり夢中になっていました。

ティーチャーズガイドをぜひ体験してみませんか。



## 小鳥の森では出前講座をしています

来年度も引き続き、福島市小鳥の森では福島市の学校や学習センターなど様々な団体向けに出前講座を開催します。(福島市内は無料、市街の場合は要相談)「室内で野鳥の事を学んでみたい」「野鳥の話をしてほしい」「身近な自然を観察したい」といったことや、「巣箱作り」「エサ台作り」だけでなく「木工クラフト」を体験したいといった要望にもお応えすることができます。

福島市内の学校や団体の皆様、ぜひ小鳥の森の出前講座をご活用ください。

(出前講座を希望する場合は2週間前までにお申し込みの上、事前打合せが必要となります。また工作やクラフト等に関しましては準備をお願いしたり、材料費の負担が発生したりします。詳しくはお問い合わせください)



\*受け付けは先着順に受け付けております。すでに予約が入っている場合、対応できないこともあります。

\*事前打ち合わせをすることで、目的に合わせたプログラムを提供できます。

**\* 福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。  
福島市小鳥の森のホームページをご覧ください。**

福島市小鳥の森(ネイチャーセンター) 開館時間：午前8時30分～午後5時  
《入場無料》 休館日：毎週月曜日(祝祭日の時はその翌日)

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel:024-531-8411 fax:024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.wbsj.org/sanctuary/fukusima/>

小鳥の森通信[しじゅうから] 2012年3月№321/企画・発行：福島市小鳥の森/(公財)日本野鳥の会・サンクチュアリ室